

令和5年2月28日
大田区立馬込小学校
校長 山本 秀一
道徳部
R4 年度 第4号

道徳だより

こころのたね

モラルジレンマと道徳授業

道徳だよりでは、主に馬込小の子どもたちの道徳の授業の様子を紙面でお伝えしています。今回は少し趣向を変えて、大人の道徳性について皆さんと考えていきたいと思ひます。

電車を利用していると、最近の駅構内にはごみ箱が無いということにお気付きの方も多くいらっしゃると思ひます。昨今の潮流で、家庭ごみは家まで持ち帰るといふのがマナーの一つになりつつあります。もし、家族で鉄道旅行に出掛け、帰路の手荷物の中にごみとなる袋があったとします。駅には中身が空のごみ箱があります。あなたは、捨てますか。それとも家まで持ち帰りますか。

大人でも明確な答えは出しづらひと思ひます。道徳の授業では、このようなどちらかの立場に立って、その根拠となった理由を発表しつつ議論することもあります。

これからも、「特別の教科 道徳」の授業を大切にしながら、「こころのたね」に栄養を与えるよう努めてまいります。また、次年度以降の更なる道徳教育の向上に向けて、皆様の忌憚のないご意見を頂戴したく、裏面にアンケートをご用意しました。ご協力の程よろしくお願ひいたします。 (道徳部 久慈)

6年生の道徳科の授業 教材名「作業服のノーベル賞」



内容項目：個性の伸長
主題名：自分らしさを大切に

あらすじ

2002年のノーベル化学賞を受賞した田中耕一さんの小学校時代の話。科学に興味をもったきっかけや、発明コンクールに応募するも、内容の優秀さから小学生らしくないという理由で受賞できなかった逸話の教材です。

主な教師の問い

「ぼくの考え、ぼくの心はいつまでも、ぼくのものでありたい。」と作文に書いた田中さんの思いについて考えましよう。

子どもたちの考え

- ・「自分らしさと」とは、自分だけにしかない特別なことだと思つた。
- ・自分らしさを大切にしたい。自分らしくいよう。
- ・自分の考えは発明すること。この考えは年をとっても変わらないでいたい。

授業の後半では、主題名である、「自分らしさを大切に」について、あらためて子どもたちの意見を聞き、振り返りをしました。

⇒続きは裏面(アンケートもあります)

教師の問い

自分のことをふり返し、自分らしさを見つけましょう。

子どもたちの考え

- ・自分のよいところ・・・何事にも熱心に取り組める。挨拶ができる。いろいろなものに興味がもてる。
- ・友達から見た自分のよいところ・・・やさしい、自分の思いに素直、夢中になっていることをあきらめない、おもしろい。

道徳アンケート



今後の道徳教育活動の充実のために、本校の道徳教育へのご意見やご感想をお聞かせください。
3月6日(月)までに、この用紙をご提出いただくか、上記の QR コードから回答していただきますよう
ご協力の程よろしくお願いいたします。

年 組	お名前
-----	-----

()に○をつけてください。

① 家庭では、道徳について子供と話をすることがある。

A よくあてはまる ()	B あてはまる ()	C あまりあてはまらない ()	D あてはまらない ()
---------------------	-------------------	------------------------	---------------------

② 子供たちの道徳的な心を育むために、学校の役割は大きいと思う。

A よくあてはまる ()	B あてはまる ()	C あまりあてはまらない ()	D あてはまらない ()
---------------------	-------------------	------------------------	---------------------

③ 本校の HP 上に道徳だよりが掲載されているのを知っている。

A 知っている ()	B 知らない ()
-------------------	------------------

④ 今後の学校での道徳教育に期待することはありますか。

A ある ()	B ない ()
----------------	----------------

A「ある」の方は下記にご意見をお書きください。

ご協力ありがとうございました。